

# 社会福祉法人 たすけあいゆい 令和2年度事業報告

## 目次

|                            |      |
|----------------------------|------|
| I 基本運営方針                   | 2～3  |
| II 各部門事業報告                 | 4～7  |
| III 令和2年度組織図               | 8    |
| IV 令和2年度部門別組織図             | 9～11 |
| IV 高齢者まちづくり部門 事業所別報告       | 12   |
| ・ 睦地域ケアプラザ居宅介護支援センター       | 13   |
| ・ 居宅介護支援センター陽だまり           | 14   |
| ・ 睦地域ケアプラザ地域包括支援センター       | 15   |
| ・ デイサービスさくら                | 16   |
| ・ デイサービス陽だまり               | 17   |
| ・ デイサービスわかば                | 18   |
| ・ たすけあいゆいわかば               | 19   |
| ・ ゆい訪問看護ステーション             | 20   |
| ・ 睦地域ケアプラザ地域活動交流・生活体制整備    | 21   |
| V 障害児・者部門 事業所別報告           | 22   |
| ・ 就労継続支援B型 夢心              | 23   |
| ・ 就労継続支援B型 えくぼ             | 24   |
| ・ 障害者共同生活援助 ハイムくるみ         | 25   |
| ・ 地域活動支援センターソーシャルクラブハウスときわ | 26   |
| ・ たすけあいゆい相談支援センター          | 27   |
| ・ 児童発達支援・放課後等デイサービスさくらんぼ   | 28   |
| VI 子ども家庭・まちづくり部門 事業所別報告    | 29   |
| ・ 児童家庭支援センター むつみの木         | 30   |
| ・ 児童家庭支援センター ゆいの木          | 31   |
| ・ 児童家庭支援センター さくらの木         | 32   |
| ・ 睦母子生活支援施設                | 33   |
| ・ 認可外保育園 つくしんぼ             | 34   |
| ・ ゆいひなた塾                   | 35   |
| ・ コミュニティサロンおさん             | 36   |

## I 基本運営方針

### 1. はじめに

新型コロナウイルス発生により、衛生資材（消毒用エタノール、使い捨て手袋、マスク、防護服など）の品薄期間が夏場まで続き、日々の感染拡大に不安な日々が続きながらも、手洗い、うがい、検温、消毒作業等を日々継続して続けていた。この期間、ソーシャルクラブハウスときわにて綿素材のマスクの製造に取り組み、職員向けのマスクの調達ができただことは利用者に直接接する職員にとって不安の軽減につながった。緊急事態宣言の発令により、保育園や幼稚園の営業自粛などの影響を受け、子育て中の職員にとって不安な時期が続いていた。行政から感染予防のためのガイドラインや営業自粛についての留意点、従来の請求方法からの変更点などについて毎日のように送られてくる大量の文書に目を通し、その都度現場での対応に迫られ、特に常勤職員の業務量が急増していた。年末には衛生資材も市場に流通し始め、また行政から福祉施設への衛生資材の優先供給なども始まり、衛生資材不足の不安は払しょくされて来た。同時期に民間業者による簡易PCR検査の普及により、発熱した職員や入所者への簡易的なPCR検査を受けられる仕組みを作ることができた。市中感染の広がりによる感染リスクの上昇により、高齢で持病のある職員や、家族の介護を担っている職員等が数名退職しそれに伴い業務縮小もやむを得ず実施したが、年度末を迎える頃には退職者分はほぼ補充でき、無事に令和3年度を迎えることができた。これは職員一人一人のプロ意識の高さと日々の地道な感染予防の継続によるものである。改めて職員の専門性の高さと日々努力するひたむきな姿勢を評価したいと感じた1年であった。ウィズコロナの新しい生活様式を取り入れ、今まで以上に地域福祉の必要性が高まり、福祉事業は人と人との関係で営まれ、良い関係の中でこそ発展する。地域の方々とお互いに助け合い、支えあって日々の事業に励みたい。

### 2. サービスの変更・拡充

・新型コロナ感染拡大防止のため、4月2日に「コミュニティサロンおさん」を休館した。おさんひなた塾をゆいこども園地下に移設しソーシャルディスタンスを保つために人数を制限して継続した。同時期に「南区寄り添い型生活支援事業」を受託したため、2021年2月末をもって閉塾した。新型コロナウイルス市中感染が落ち着くまでコミュニティサロンおさんの閉館は継続する。

・南区寄り添い型生活支援事業「ゆいひなた塾」を受託し、南区睦町の2階建ての民家を借り、2021年2月1日に開所した。職員と簡単な調理を楽しんで取り組んだり、ボードゲームをしたりする間に子ども自ら「勉強したい」という前向きな気持ちが芽生えており、宿題や苦手科目のおさらい等から始めている。

・サービスの質の向上を図るため、利用者満足度調査を全事業で実施する予定だったが、介

護保険事業のみの実施となった。未実施だった事業所については令和3年度の秋に実施したいと考えている。

### **3 法人全体の経営体質の強化**

#### **・予算管理の強化について**

緊急事態宣言発令後、当初予算の大幅な見直しに迫られた事業もあり、前例の無いような状況変化に対応すべく、補正予算を組み事業継続に必要な予算管理を徹底した。新型コロナウイルス感染対策に関する補助金が支給され、収入、支出を見直し、適切に事業費を運用した。

#### **・有給休暇取得の推進**

年次有給休暇10日以上の職員に対し、その内5日間を消化することはほぼ達成できているが、引き続き5日間消化できるように取り組んでいく。

#### **・部門に所属する事業所の横のつながりを強化**

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、賀詞交換会を取りやめた。新型コロナウイルス予防に効果がある機材の購入など、事業所間で情報を共有した。各事業所の運営に適した機材を導入し、日々の感染予防に努めている。管理職に貸与している携帯電話を 아이폰に変更し、ラインワークスなどを用いて事業所間の状況の変化、コロナ関連を含めた情報伝達と共有が円滑にできるようになった。

## Ⅱ 各部門の事業報告

### 高齢者まちづくり部門 事業報告（部門長：西村正平）

#### ① 総括

新型コロナウイルス感染症の感染症対策を各事業所にて徹底し、安全に事業運営を継続する。

##### 【達成】

令和 2 年度において、訪問看護ステーション職員一名が陽性者（二週間の自宅待機後職場復帰）のみ。その他各事業所にて濃厚接触者や法人判断で PCR 検査を積極的に実施、職員及び利用者に陽性者は出ず事業運営を継続した。

#### ② 重点項目に対する達成状況

##### ・ 高齢部門事業所間の連携（新規利用者の獲得・スタッフの連携・機能訓練の研修等）

##### 【達成】

毎月開催する部門会議にて、各事業所での利用者数の増減の報告（新規・終了等）を行い情報の共有を図った。睦地域ケアプラザで相談に来られる案件を部門会議にて議論し、各サービスとの連携を図り、情報共有することでより継続的に良いサービスの提供につながっている。デイサービスわかばにて、職員及び看護師向けに訪問看護ステーションの理学療法士が講師となり、利用者の機能訓練に関する研修を定期的で開催しており、令和 3 年度も継続する。

##### ・ 睦地域ケアプラザを中心に高齢部門の協力を得て、地域との繋がりを図る。

##### 【達成】

毎月開催している部門会議にて、睦地域ケアプラザの包括支援センターに寄せられる地域の方々からの相談等に対して、各サービス事業所からの助言や情報共有を通じ、地域にある課題や困りごとに対し、部門全体で取り組み、認知症カフェの運営のサポート等地域との連携を強化している。

##### ・ 毎月開催する部門会議にて情報の共有をおこない、新規利用者の獲得を目指す。

##### 【達成】

各事業所より、近況報告・事故、ヒヤリハット報告、事例困難ケースの情報を部門全体で共有した。新規利用者のサービス開始に繋げるケースの検討や各事業所が抱える支援困難なケースに対しての問題解決に向け部門全体で共有し、部門全体でより良い支援、適切な支援について議論し、新規利用者の獲得につながるよう努めた。

他事業所の新型コロナ感染者発生状況についての情報共有を行いながら、感染予防に努めながら新規利用者の獲得を行った。

## 障害児・者部門 事業報告（部門長：奥山千鶴）

### ① 総括

新型コロナウイルス感染防止対策で、気が抜けない 1 年だった。事業所の日々の清掃、消毒、換気などの努力で、感染者が出ることなく運営できた。部門会義での区内発生状況の情報交換も大いに役立ったと言える。部門会義の役割は大きく、活発な意見交換、支援方法・事例検討などができる各管理者の相談の場ともなり、事業所に持ち帰り検討し、支援方法の見直し、新人職員教育の見直し、対応力のステップアップなどにつなげることができた。また資格取得研修時は、部門間の協力で手伝いに行き乗り切ることができ、B型事業所（夢心・えくぼ）では、法人内の事業所からの清掃作業の継続依頼で作業収入を得ることができた。逆にB型事業所から地域活動支援センターに内職作業を依頼するなど、事業所間の協力体制はさらに強くなったと感じた 1 年だった。次年度も続くコロナ感染対応、研修開催体制構築、職員採用など、部門内でさらに協力し取り組んでいく。

### ② 重点項目に対する達成状況

・利用者アンケートを実施し、サービスの質を見直す機会を設け、部門会義などで検討し、サービス向上に取り組む

#### 【達成状況】

通所事業では、新型コロナウイルス感染防止のため、在宅利用の利用者などがおり、3 密回避のための通所スケジュール変更が多く、アンケート実施は行わなかった。前年度実施の回答を踏まえ、部門会義で事例検討、支援方法の確認などを行い、各事業所に持ち帰った。

・利用者の権利擁護を部門内で検討し、当事者の思いを知り共感できるような研修を企画し、「障害者の権利」について改めて考える研修をする。

#### 【達成状況】

部門会義では、事例検討から学び、研修は各事業所単位で、「虐待防止・障害児者の人権を守る」を題材にした資料をもとに行った。

・職員の有給休暇取得を促進のため、管理職、常勤職員が、有給休暇を取得できるよう、人材育成を含めた職員体制を整える。

#### 【達成状況】

各事業所内で調整ができ、管理職、常勤職員とも取得できた。次年度も、部門で協力していく体制を継続する。

## 子ども家庭 まちづくり部門事業報告

### ① 総括

新型コロナウイルス感染症の対策として、人・物のアルコール消毒やオゾン発生機・空気清浄機を導入し、感染予防の対策を強化した。

新型コロナ感染症により様々な制約を受ける中で密にならない工夫をし、利用者の満足度を高め良い支援につながるよう努めた。

### ② 重点項目に対する達成状況

・心理士、社会福祉士、保育士3職種の専門性の違いを強みとして、各事業所で実施するケース検討会議に相互に参加し、専門性を向上させる。

#### 【達成状況】

各事業所での検討会議は、関係機関を含め、連携をとることが出来た。コロナウィルス感染の為、相互に参加することは密になることを避け、メールでのやりとりで共有できた。睦母子生活支援施設では心理士、社会福祉士、保育士3職種の専門性を高める研修を感染対策に取り組みながら実施した。

・睦母子生活支援施設と3つの児童家庭支援センター（むつみの木、ゆいの木、さくらの木）の事業所間を超えて、積極的に人材育成に取り組む。

#### 【達成状況】

睦母子生活支援施設、3つの児童家庭センター（むつみの木、ゆいの木、さくらの木）共に実習生を積極的に受け入れる体制を計画していたが、新型コロナウイルス感染症のこともあり、前半期での実施は難しかった。しかし、後半は実習前の体調管理（検温や風邪症状の有無の確認）やPCR検査を含む検診を義務付け社会福祉士、保育士の実習生を受け入れることが出来た。又、公認心理師の実習も受け、密を避けるために非対面式のビデオ会議ソフトの一つである、ズーム（ZOOM）での研修を取り入れ、人材育成に取り組むことが出来た。

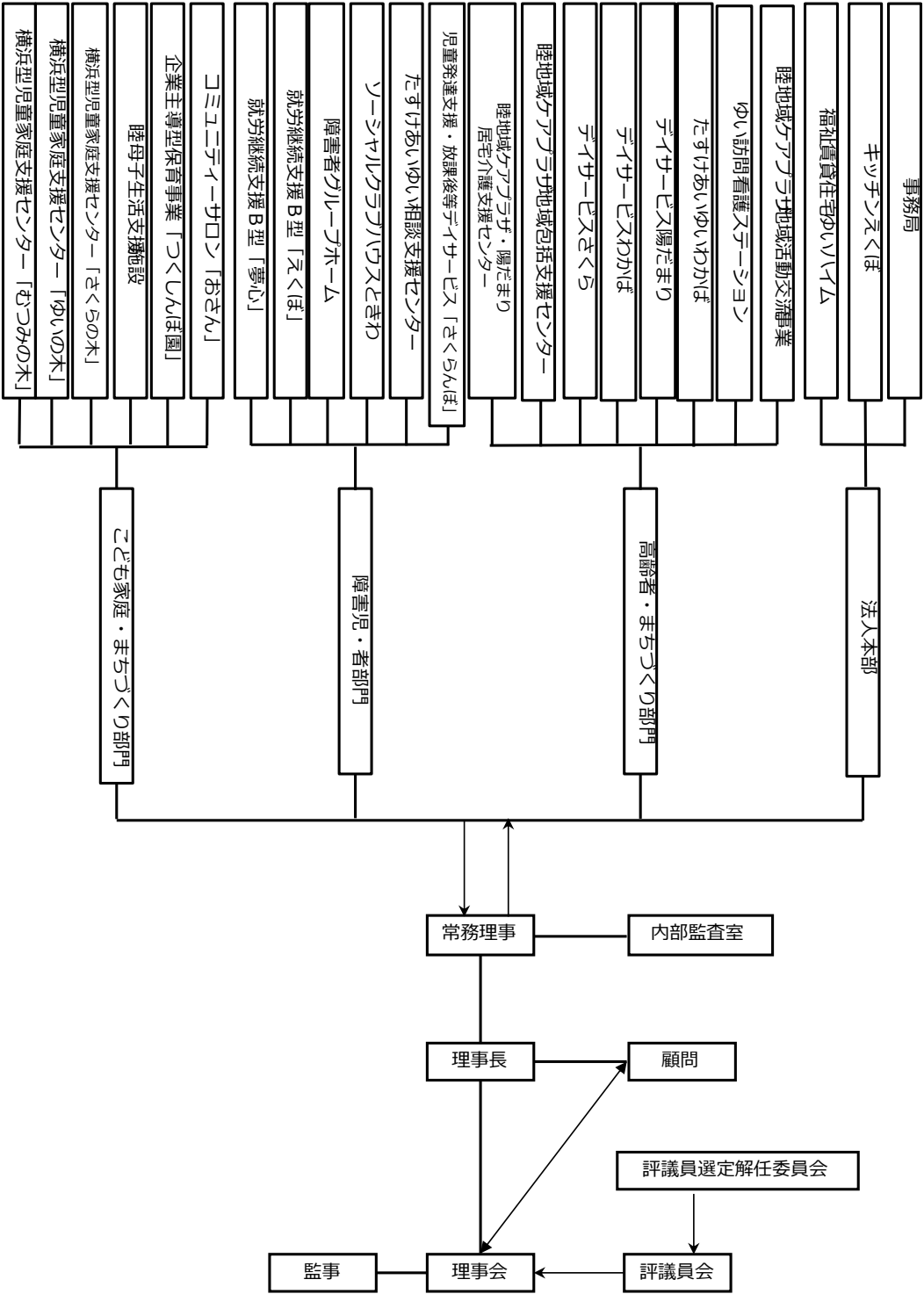
・子どもの貧困対策事業を拡充するため、南区で実施している「おさん・ひなた塾」と「子ども食堂」を継続し、磯子区のYわい広場で「Yわい広場・ひなた塾」を開設する。

#### 【達成状況】

「おさん・ひなた塾」は新型コロナウイルス感染症防止の為に一時的に休止し、ゆいこども園地下に場所を移し、2021年1月末まで実施した。より一層困難な状況にある子どもの貧困対策事業を拡充するため、小・中学生を対象とした南区寄り添い型生活支援事業を受託した。名称を「ゆいひなた塾」とし、2021年2月1日より開始した。落ち着いた環境で学習・生活支援を受けながら安心できる居場所を確保し、将来に向けて前向きに取り組めるよう支援している。また地域貢献事業として子どもと地域住民みんなの居場所「手のひら食堂」

「こども市場」がコロナ渦下でも継続できるよう、食材やお弁当の配食に切り換えたりなどして取り組み続けた。

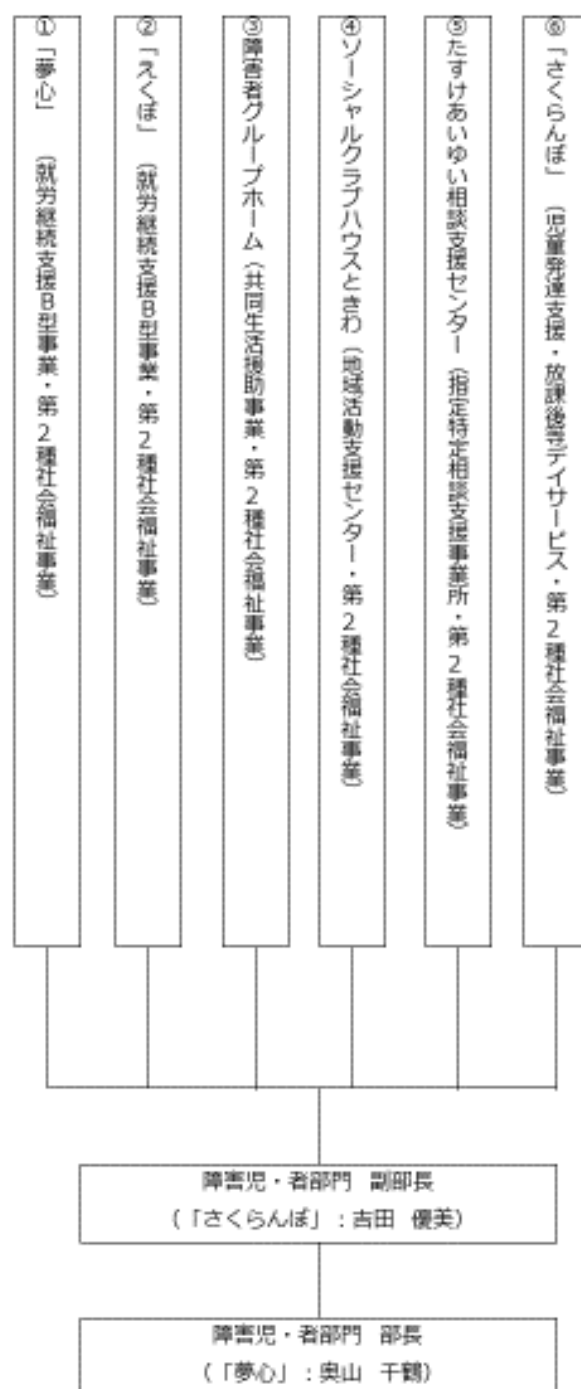
令和2年度組織図



## 高齢者・まちづくり部門組織図



## 障害児・者部門組織図



## 子ども家庭・まちづくり部門組織図



## V 高齢者まちづくり部門 事業所別事業報告

| 令和2年度事業報告書                                        |                                                                | 事業所名                                                | 睦地域ケアプラザ居宅介護支援センター | 管理者氏名 | 高橋裕子 |
|---------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--------------------|-------|------|
| ①サービスの種類                                          |                                                                | 居宅介護支援・公益事業                                         |                    |       |      |
| ②総括                                               | 9月よりケアマネの異動があり、1名がディサービスさくらと兼務となり特定事業所加算（Ⅱ）が（Ⅲ）へ変更となった。        |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | コロナウィルス感染拡大防止のため、訪問には十分注意し担当者会議は最小限にとどめた。電話での聞き取りを丁寧に          |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 行い、利用者の状況は週に1度のミーティングで共有し、緊急な場合も担当ケアマネ以外でも対応できるように今後も          |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 取り組んでいきたい。研修等の開催は少なかったが、ノートパソコンを購入したことによりzoomでの会議や研修に          |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 参加することができ有効に活用した。令和3年度には介護保険の報酬改定もあるため、今後もミーティングで情報共有が必要と思われる。 |                                                     |                    |       |      |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価                               | ①積極的に利用者を受け入れ、各ケアマネジャーの介護担当利用者数を上限に近づける（35名）                   |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 一年間通じて、上限に近い担当数の給付管理を行い、契約のみの利用者に関しても更新申請の手続きを行った。             |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 3月末時点で介護91名、予防14名給付管理を行った。                                     |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 達成状況：一部達成                                                      |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | ②特定加算事業所の算定を継続し、質の高いケアマネジメントを提供する。個々が積極的に研修・事例検討に参加し           |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 自己研鑽に励み研修報告を部署内研修とする。                                          |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 一研修の開催は少なかったが、ZOOMでの参加を主に行い、ミーティングで情報共有を行った。困難なケースに関しては        |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 居宅内だけではなく包括とのミーティングでも取り上げ、支援方法の検討を行った。                         |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 達成状況：一部達成                                                      |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | ③医療介護の連携、民生委員や地域の方々と顔に見える関係づくりに努め、社会資源の把握にも努める。                |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 他部門とも連携し地域ケアプラザの居宅介護部門としての役割を果たす。                              |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 一全体の3割が要介護3以上のため、医療との連携が重要である。独居・高齢者世帯が多く医師からもケアマネ同行           |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | を求められることが多くなり訪問診療医とコミュニケーションツールを使用して連携することも増えた。                |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 地域の活動をしていた方を担当することも多くなり、個人情報には十分注意しケアマネジメントを行っている。             |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | ④新型コロナ対策                                                       | 民生委員の訪問を受けている利用者に関しては、担当ケアマネであることを伝え必要時、利用者の同意を得た上で |                    |       |      |
| 情報共有を行い、見守りに協力いただいている。                            |                                                                |                                                     |                    |       |      |
| ケアプラザ協力医とケアマネ、民生委員との「ドクターサロン」にも参加し、医療や地域との連携を図った。 |                                                                |                                                     |                    |       |      |
| 達成状況：一部達成                                         |                                                                |                                                     |                    |       |      |
| 毎朝、出勤時に検温、記録を行う。朝ミーティング後は消毒を行い常時、換気に努める。          |                                                                |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 相談時には、相談室でアクリル板を設置し仕切りをおこなう。使用したスリッパの消毒も行う。                    |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 訪問時、非接触型体温計を持ち、自分が発熱していないことを、相手に示したあと利用者の検温を行う。                |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | なるべく短時間の滞在を心がけ、大人数での担当者会議等は避け書面でのやり取りとする。                      |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 事業者よりコロナに関する情報が発信された場合、プラザ内で共有するとともに法人本部にも情報提供を行い              |                                                     |                    |       |      |
|                                                   | 職員が関連していた場合、報告しPCR検査を受ける。                                      |                                                     |                    |       |      |

| 令和2年度事業報告書                     |                                                         | 事業所名   | 居宅介護支援センター陽だまり | 管理者氏名 | 西村 正平 |  |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------|--------|----------------|-------|-------|--|
| ①サービスの種類                       |                                                         | 居宅介護支援 |                |       |       |  |
| ②総括                            | 令和2年10月指定事業所の更新を実施した。次回令和8年更新予定となる。                     |        |                |       |       |  |
|                                | 今年度の居宅介護では、2年9月から睦居宅からの移行及び新規利用者増のため、後期において5名の増加となった。   |        |                |       |       |  |
|                                | 認知通所との併設の利点を活かし、併用する利用者も3名と増加した。たすけあいゆいグループホーム入居の高齢利用者も |        |                |       |       |  |
|                                | 増えており、法人内のサービス事業所との連携を密にし、利用者の在宅生活継続の支援を引き続き実施した。       |        |                |       |       |  |
|                                | 磯子地域ケアプラザからの相談も増えており、認知症利用者の受け入れ窓口として今後も地域での役割を果たしたい。   |        |                |       |       |  |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価            | ・デイサービス陽だまりと連携をし認知症の方が居宅において、安心して家族と過ごしていける環境作りに努める     |        |                |       |       |  |
|                                | 達成 居宅介護やデイ利用の利用者の認知症ケアにおいて、在宅生活継続の為の環境作り及び家族との関係づくりに    |        |                |       |       |  |
|                                | 努めた。又、デイサービスにて年2回行う運営推進会議に出席をし、利用者家族の相談に磯子地域包括支援センターと   |        |                |       |       |  |
|                                | 共同で在宅生活の継続に向けた関係づくりをおこなった。                              |        |                |       |       |  |
|                                | ・認知症デイサービスがおこなう認知症カフェを共同でおこない、地域の方々との交流を深め新規利用者の獲得を目指す  |        |                |       |       |  |
|                                | 一部達成 今年度は新型コロナウイルスの影響により、中止が相次いだため、予定通りの実施が出来ず、参加予定の    |        |                |       |       |  |
|                                | 利用者の欠席もあり、以前のような活発なカフェの運営が出来ない状況が続いた。                   |        |                |       |       |  |
|                                | 令和3年度は人数制限及び時間短縮を行い感染防止に努め、参加者が安全に楽しめるような感染対策を徹底する。     |        |                |       |       |  |
|                                |                                                         |        |                |       |       |  |
|                                |                                                         |        |                |       |       |  |
|                                | ・同一敷地内高齢者住宅ヒラソル磯子の住民の方々に認知症カフェのボランティアを依頼し、今まで以上の関係づくりを  |        |                |       |       |  |
|                                | 意識し、介護相談等にも積極的に行う。                                      |        |                |       |       |  |
|                                | 一部達成 認知症カフェの参加の声掛けを住民の皆様にし、毎回2～3名に参加して頂いた。              |        |                |       |       |  |
| ④新型コロナ対策                       | 新しく地域の民生委員の方が毎回カフェに参加をして頂けるようになり、その場でヒラソル磯子の住民の方との交流も   |        |                |       |       |  |
|                                | 図れるようになっており、今後も継続していく。                                  |        |                |       |       |  |
|                                |                                                         |        |                |       |       |  |
|                                |                                                         |        |                |       |       |  |
|                                |                                                         |        |                |       |       |  |
| ④新型コロナ対策                       | 新型コロナウイルス感染予防対策として、厚労省及び横浜市から示されたコロナウィルス対応状況チェックリストを活用。 |        |                |       |       |  |
|                                | 横浜市健康福祉局からの通達により、モニタリング、定期訪問等を控え電話でのモニタリング及び事業間の担当者会議には |        |                |       |       |  |
|                                | FAXを活用し代替えを行っている。                                       |        |                |       |       |  |
|                                | 職員は毎朝の検温の実施、マスク着用、手指消毒、手洗い、事業所での換気の徹底、各箇所の消毒を行っている。     |        |                |       |       |  |
|                                | 訪問先利用者への非接触型体温計携帯及び検温実施。横浜市からのマスク配布を継続した。               |        |                |       |       |  |
| 体調不良等各サービス機関との連絡及び緊急時の対応を継続した。 |                                                         |        |                |       |       |  |

| 令和2年度事業報告書                                                                    |                                                                                                                                     | 事業所名                                          | 睦地域ケアプラザ包括支援センター | 管理者氏名 | 高橋裕子 |  |
|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------|-------|------|--|
| ①サービスの種類                                                                      |                                                                                                                                     | 公益事業・社会福祉事業 居宅介護予防支援                          |                  |       |      |  |
| ②総括                                                                           | 生活困窮に関する相談が例年よりも多く、区役所と連携し手続きの支援を行った。重篤になる前に、相談機関に繋げる                                                                               |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | 必要性を感じていることを地域ケア会議で共有した。(コロナウィルス感染拡大防止の観点から小規模で実施)                                                                                  |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | 今後も小地域でのニーズの把握や早期発見に努め、地域住民との協議の場を重ねていく必要を感じる。                                                                                      |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | 回数は少なかったものの高齢者の介護予防のため、サポーターの学習会や出張講座を行い、地域との関係性を                                                                                   |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | 深めることができた。                                                                                                                          |                                               |                  |       |      |  |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価                                                           | ①地域ケア会議を重ね、地域住民・店舗・金融機関等関係と連携を図り課題を共有し課題解決に向けた事業を実施する。60歳前後の地域住民を対象に早いうちから福祉・保健や地域活動に興味を持っていただけるような連続講座を開催予定。5職種会議を行い、地域の情報の共有化を図る。 |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | →コロナウィルス感染拡大防止の観点から、連続講座は中止。今後状況に併せて検討していく。                                                                                         |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | 月に1度5職種会議を行い、地域や事業についての共有を行う。地域の会議等が再開された際は、交代で                                                                                     |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | 出席し議事録を作成し回覧をおこなった。                                                                                                                 |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | 達成状況：未達成                                                                                                                            |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | ②毎日のミーティングに加え、ケース会議や自主事業や各職種分科会での情報共有を行う。居宅との会議も月に1回程度は行い、連携体制を強化し困難ケースの共有化を図る                                                      |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | →朝、10分程度のミーティングを行い、ケースの進捗状況の情報共有を行った。初回対応した職員が不在でも                                                                                  |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | 対応できる体制を構築している。区とのケースカンファレンスの前に定期的にミーティングを行い、カンファレンスでの議事の整理や、各職種の事業の共有を行った。                                                         |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | 達成状況：一部達成                                                                                                                           |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | ③適切な予防ケアマネジメントを行い、公正中立なサービス提供、受託利用者数の安定を図る。                                                                                         |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | →予防ケアマネジメントに当たっては、数か所をホームページやパンフレットを提示し、利用者、家族に選択していただき                                                                             |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | 一定の事業者に偏ることのないよう調整した。月平均200件の給付管理を行っており受託は55件に留まっている。                                                                               |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | 主マネが3月で退職したため、受託数を増やすことは困難な状況になっている。                                                                                                |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | 達成状況：未達成                                                                                                                            |                                               |                  |       |      |  |
|                                                                               | ④新型コロナ対策                                                                                                                            | 毎朝、出勤時に検温、記録を行う。朝ミーティング後は消毒を行う。常時、換気に努める。     |                  |       |      |  |
|                                                                               |                                                                                                                                     | 相談時には、アクリル板で仕切りを行う。使用したスリッパの消毒も行う。            |                  |       |      |  |
|                                                                               |                                                                                                                                     | 訪問時、非接触型体温計を持ち自分が発熱していないことを相手に示したあと利用者の検温を行う。 |                  |       |      |  |
| なるべく短時間の滞在をところがけ大人数の担当者会議や事業は避け書面でのやり取りとする。                                   |                                                                                                                                     |                                               |                  |       |      |  |
| 事業者よりコロナの感染に関する情報が発信された場合、プラザ内で共有するとともに法人本部にも情報提供を行い職員が関連していた場合、報告しPCR検査を受ける。 |                                                                                                                                     |                                               |                  |       |      |  |

|                     |                                                                                                                                                                                                                |      |           |       |       |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------|-------|-------|
| 令和2年度事業報告書          |                                                                                                                                                                                                                | 事業所名 | デイサービスさくら | 管理者氏名 | 西 美千代 |
| ①サービスの種類            |                                                                                                                                                                                                                | 通所介護 |           |       |       |
| ②総括                 | 令和2年度4月頃より、新しい特別養護老人ホームが完成し、利用回数が多かった方々が6名程入所され、一時的に利用者数が減少してしまったが、近隣デイサービスが閉所となり、そちらのデイサービスからさくらのご利用を希望された方々がいらっしゃったため、大きな損失は避けることができた。新規のご利用者様の定着度は高く、重点取組に掲げた月平均650名は達成できなかったものの、月平均約610名のご利用者様を確保することができた。 |      |           |       |       |
|                     |                                                                                                                                                                                                                |      |           |       |       |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 | ・ 収支の安定を図る為、月平均延べ利用人数を650名の確保に取り組んできたが達成することは出来なかった。しかしながら、コロナ禍において月平均610名のご利用者様を確保できたことは、良好な結果と前向きに捉えている。また、コロナウィルスに感染した利用者、職員が一人も出なかったことに安堵している。                                                             |      |           |       |       |
|                     | 引き続き、更に徹底した感染対策を行っていく必要がある。                                                                                                                                                                                    |      |           |       |       |
|                     |                                                                                                                                                                                                                |      |           |       |       |
|                     | ・ ご利用者様が求めているサービスを提供するために、研修の受講を予定していたがコロナの影響でほとんどがオンライン研修となり、なかなか受講が出来なかった。                                                                                                                                   |      |           |       |       |
|                     | スタッフミーティングでは、サービス提供中のヒヤリハット等を振り返り、今後の対応策や反省点を話し合い、事故防止に活かせるようスタッフ間で周知をした。                                                                                                                                      |      |           |       |       |
|                     |                                                                                                                                                                                                                |      |           |       |       |
|                     | ・ 「接遇」を重視したより質の高いケアを目標とし、サービス提供を行っているがスタッフ一人一人が接遇を意識するにはまだ至っていないので、引き続き「接遇」を意識して介助にあたる。                                                                                                                        |      |           |       |       |
|                     |                                                                                                                                                                                                                |      |           |       |       |
|                     | ・ 地域の方々に「デイサービスとは何？」を知っていただこうと、地域の方々と交流する機会を設ける予定だったが、コロナウィルス感染防止の観点から中止となった。                                                                                                                                  |      |           |       |       |
|                     | 今後も引き続き、コロナ禍で地域の方々に「デイサービスとは」を知っていただけるような企画を考えていきたい。                                                                                                                                                           |      |           |       |       |
| ④新型コロナウイルス対策        | ・感染拡大防止に向けた取り組み方針を再確認し、デイサービス室内の換気と消毒を行う。                                                                                                                                                                      |      |           |       |       |
|                     | ・感染状況によっては密を避けるため、1日の利用者数をさらに減らすことも検討する。                                                                                                                                                                       |      |           |       |       |
|                     | ・送迎時は窓を開け換気に留意し、送迎後は車内の消毒を徹底して行う。                                                                                                                                                                              |      |           |       |       |
|                     | ・朝のお迎え前の電話で体温を確認し、37.0℃以上ある場合はお休みとしていただく。                                                                                                                                                                      |      |           |       |       |
|                     | ・利用時間中はこまめな手洗い、消毒を徹底して行い適宜換気をする。                                                                                                                                                                               |      |           |       |       |
|                     | ・サービス提供時間終了後は換気と消毒を徹底して行う。                                                                                                                                                                                     |      |           |       |       |
|                     |                                                                                                                                                                                                                |      |           |       |       |

| 令和2年度事業報告書                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                | 事業所名                                                                                                              | デイサービス陽だまり | 管理者氏名 | 西村 正平 |  |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|-------|--|--|
| ①サービスの種類                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                | (予防)認知症対応型通所介護                                                                                                    |            |       |       |  |  |
| ②総括                                                                                                | ・利用者が通所利用されている際に、自宅に居るような落ち着いた空間作り及び笑顔が作れる時間を増やすよう職員が意識をもち業務にあたった。                                                                                                                                                                             |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    | ・地域の方々や陽だまりが共に生活している環境作りに努め、毎日の近隣商店街への買い物や、近くの公園での歩行訓練の際の地域の方々との交流を通し、地域の方々との関係づくりに努めた。                                                                                                                                                        |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    | ・認知症利用者や家族の居場所作りとして、3ヵ月に一度認知症カフェ「オレンジサロン」を開催し、近隣住民やボランティア福祉関係者との交流の場として定着をしており、今年度も継続しておこなう(令和2年度コロナ緊急事態の影響で2回開催)                                                                                                                              |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価                                                                                | ・日常リハビリや機能訓練の為に外出等を通じ、陽だまり独自のプログラムをスタッフと利用者が共におこない、利用者の日々の生活での気分転換や楽しみが増えることにより、笑顔が増え自宅での生活の活性化に繋げる<br>(達成) 一年を通し、生活リハビリ(調理・お米研ぎ・洗濯物のたたみ・買い物)や機能訓練の為に外出を行うことにより在宅生活の継続及び外出することにより下肢筋力の維持や気分転換を図り、落ち着いた空間作りに職員が努めた。                             |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    | ・一日の平均利用人数10名以上を最低基準とし、事業運営の安定を図る(目標一ヵ月利用人数270人・介護保険収入300万)<br>(未達成) 令和2年度当初より新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の影響を受け、時短営業及び通所を自粛する利用者数が増え、前期での大幅な収入減が1年を通して影響してしまった。令和3年に入り徐々に利用者数の増加があり令和3年度への利用者数増加に繋がっている。                                               |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    | ・利用者とのコミュニケーションに重点をおき、利用者が一日を通じ、穏やかに落ち着いて過ごしていただくようケース会議を通じ個別対応に対しての援助方法を職員全員で共有化し、認知症ケアの向上を目指した。<br>(達成) 毎月おこなうミーティング、ケース会議において認知症ケアの個別コミュニケーションに最も力をいれ情報を共有し、個々の利用者が一日を穏やかに笑顔で過ごすことに重点をおき支援をおこなった。                                           |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    | ・3ヵ月に一度認知症カフェを開催し地域の方々や専門職、ボランティアとの交流を図る。毎回利用人数20人以上を目標。<br>(達成) 令和2年度の6月と12月の2回のみの開催(他は緊急事態宣言及び感染防止のため中止)となったが10名以上の利用者、近隣住民、民生委員の方々もお馴染みの顔ぶれとなり、毎回参加して頂ける方が増えている。<br>令和3年度も引き続き、3ヵ月に一度開催するが、感染防止の徹底のため、時短及び人数制限を行い利用される方々が安心して参加出来る環境作りに努める。 |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    | ④新型コロナ対策                                                                                                                                                                                                                                       | 朝の送迎時の送迎車輛乗車前の検温、ご家族からの聞き取り、職員の出勤時の検温、施設内での一時間に一回15分の換気の徹底、職員・利用者のマスク着用、手洗い、アルコール消毒の徹底、施設内及び送迎車輛の次亜塩素酸希釈液での朝、夕の消毒 |            |       |       |  |  |
| 利用者、職員の1ケア1手洗い、うがい、手指消毒の実施、ご家族への感染症予防の為に厚労省、横浜市からのリーフレット配布。事業所にPCR検査キットを常時置いておき、職員及び同居家族の発熱時にも速やかに |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
| 検査が出来ることで職員が安心して勤務出来る環境作りに努めた。又、緊急事態宣言期間における                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
| 公共交通機関を利用している職員の時差通勤の実施、有給休暇の一時間単位での取得推進をおこなった。                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |
|                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                   |            |       |       |  |  |

|                                                  |                                                                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-------------------|-------|-------|
| 令和2年度事業報告書                                       |                                                                                                                                                   | 事業所名                                  | たすけあいゆい デイサービスわかば | 管理者氏名 | 布川 和宏 |
| ①サービスの種類                                         |                                                                                                                                                   | 地域密着型通所介護/横浜市通所介護相当サービス               |                   |       |       |
| ②総括                                              | ・昨年度に中里から堀ノ内町に移転をし、2年目を迎えた。今年度は更なる事業所の周知を図り、集客及び収益のアップを第1の目標としたが、予算に対する執行率は約82%と未達成の状況であった。その為、令和3年から営業日を1日減らし運営体制をスリム化して、収益を安定することが出来る様に対応を行なった。 |                                       |                   |       |       |
|                                                  | ・今年度はコロナ禍の影響を受け、地域包括支援センターと協働で開催する予定だった「わかばカフェ」が1度も開催出来なかった。地域密着型事業所として地域との連携や関係性の向上は必要な取組みであり、事業所の認知度を高める為にも開催方法等を見直していく。                        |                                       |                   |       |       |
|                                                  |                                                                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
|                                                  |                                                                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
|                                                  |                                                                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価                              | ①登録利用者の確保                                                                                                                                         |                                       |                   |       |       |
|                                                  | 未達成→今年度の月平均の延べ利用者数が215名となっており、目標は240名を見込んでいた為、未達成の状況であった。新規利用者の獲得が十分に実行出来ず、またコロナ禍により利用を控える動きなどが                                                   |                                       |                   |       |       |
|                                                  | 見られた。引き続き、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターに営業活動を行ない、利用者の確保に努める。また改善策として、令和3年1月より営業日を週6回から週5回に減らし利用者を集約すると共に                                                   |                                       |                   |       |       |
|                                                  | 人件費や経費の削減に繋げることで、黒字額を増やせるよう取り組みを行なった。                                                                                                             |                                       |                   |       |       |
|                                                  |                                                                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
|                                                  | ②活動・プログラムの内容を充足する。                                                                                                                                |                                       |                   |       |       |
|                                                  | 達成→短時間デイサービスとしてリハビリの内容を充実させる為、看護師が機能訓練指導員研修を受講。他の                                                                                                 |                                       |                   |       |       |
|                                                  | 職員に内容をフィードバックし、機能訓練に対する知識と実践力の向上に努めた。また同法人の訪問看護                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
|                                                  | ステーションと連携をし、PTによるレクチャーや利用者の動作に対する個別の課題等を共有し、支援に                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
|                                                  | 繋げた。                                                                                                                                              |                                       |                   |       |       |
|                                                  |                                                                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
|                                                  | ③地域との関係性の向上                                                                                                                                       |                                       |                   |       |       |
|                                                  | 未達成→昨年度は地域包括支援センターと協働でわかばカフェ(コミュニティーカフェ)を四半期に1度開催したが、                                                                                             |                                       |                   |       |       |
|                                                  | 今年度はコロナ禍の影響で予定していた開催が全て中止となってしまった。地域密着型事業所として、地域住民との関りを深め地域に根差した運営を行なう事が求められる為、開催方法を再検討し、次年度の開催を図る。                                               |                                       |                   |       |       |
|                                                  |                                                                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
|                                                  | ④新型コロナ対策                                                                                                                                          | ◎高齢部門 新型コロナウィルス感染防止策定に従い、感染予防対策を徹底した。 |                   |       |       |
| ・部門事業所内としては、換気・消毒の徹底。事業所内各箇所への手指消毒液の設置。送迎車内の降車時の |                                                                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
| 消毒の実施。会議、ミーティングでの職員への感染症対策の指導。法人本部と連携をし、必要備品の確保・ |                                                                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
| 備蓄の強化。                                           |                                                                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
| ・高齢部門全職員の、出勤前の検温の実施。時差通勤の推奨。マスク着用の徹底。テレワーク及び提供時間 |                                                                                                                                                   |                                       |                   |       |       |
| 短縮の検討。事務所、休憩室でのソーシャルディスタンスの徹底。アクリルパーテーションの使用等。   |                                                                                                                                                   |                                       |                   |       |       |

| 令和2年度事業報告書          |                                                  | 事業所名                               | たすけあいゆいわかば | 管理者氏名 | 神谷 幸子 |
|---------------------|--------------------------------------------------|------------------------------------|------------|-------|-------|
| ①サービスの種類            |                                                  | 訪問介護(介護保険・障害福祉サービス・横浜市受託事業・自費サービス) |            |       |       |
| ②総括                 | 利用者のニーズに合わせたサービスを行い、利用者が安心して自立した生活がでようサービスを提供する。 |                                    |            |       |       |
|                     | ヘルパーからの報告(苦情・体調不良など)報告に素早く対応し 連携機関とに連携を密にし       |                                    |            |       |       |
|                     | サービス提供を務めることが出来た。                                |                                    |            |       |       |
|                     | 法人の居宅介護支援事業所や相談支援事業所からの依頼もあり、介護保険・障害福祉の仕事は増えた。   |                                    |            |       |       |
|                     | 受託事業(養育支援)は子どもに対虐待防止の為のケアで年々難しいケースが増えています。       |                                    |            |       |       |
|                     | より一層、関係機関との連携を密に取りよう努めています。                      |                                    |            |       |       |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 | ○介護保険は新規・終了者数は年間を通して人数的には大きく変わりなく、認知症の方が増加した。    |                                    |            |       |       |
|                     | 障害者福祉サービス新規9名、終了者3名。                             |                                    |            |       |       |
|                     | 障害福祉サービスの依頼があり、身体障害者より、精神障害者が増えてきている。            |                                    |            |       |       |
|                     | 新規依頼は少しずつ増えてきているが、対応できるヘルパーの人数不足が課題となっている。       |                                    |            |       |       |
|                     | 今後も丁寧な仕事を行い、営業活動を継続していく。                         |                                    |            |       |       |
|                     | ○利用者サービスの向上                                      |                                    |            |       |       |
|                     | 第三者機関による利用者満足度調査は今後も継続していきたい。                    |                                    |            |       |       |
|                     | 今年度はコロナ禍の為、定例会の開催が出来ない状況が続いた。                    |                                    |            |       |       |
|                     | 職員の人材育成としてヘルパー必須研修に関しては資料を配布してそれぞれ自宅で学習し         |                                    |            |       |       |
|                     | 研修報告書の提出させた。次年度はリモート研修を取り入れていきたい。                |                                    |            |       |       |
|                     | ○地域との関係づくり                                       |                                    |            |       |       |
|                     | コロナ蔓延防止の影響により、行事がほとんど開催されず関係づくりが出来なかった。          |                                    |            |       |       |
|                     | 近所の方との挨拶から始めていきたい。                               |                                    |            |       |       |
|                     | 今後も人材確保に努めていく。                                   |                                    |            |       |       |
| ④新型コロナ対策            | 手洗い、うがい、消毒を励行しコロナ禍でもヘルパーの陽性者ゼロで変わりなく仕事をする事が出来た。  |                                    |            |       |       |
|                     | 事業所入室時には必ず検温を実施している。                             |                                    |            |       |       |
|                     | 引き続き、手洗い、うがい、マスク着用の徹底を行う。                        |                                    |            |       |       |
|                     | 利用者宅でも換気、消毒、マスクの着用、体調確認を行っている。                   |                                    |            |       |       |

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |              |       |       |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|-------|-------|
| 令和2年度事業報告書          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 事業所名 | ゆい訪問看護ステーション | 管理者氏名 | 浅野 拡夫 |
| ①サービスの種類            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 訪問看護 |              |       |       |
| ②総括                 | 令和2年度は、新型コロナウイルス関連の対応の年だった。前半はマスク等衛生材料不足から購入手配に四苦八苦、利用者様から陽性者が出て、訪問する職員が濃厚接触者として自宅待機や職員全員のPCR検査の実施を経験し、後半は感染対策の徹底を防護面から、消毒面から、出勤者の調整面からと検討実施を繰り返して1年でした。その結果、我々訪問する職員が媒介となり、利用者様に感染する事故がなく訪問を継続できたことを大きく評価したいと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |              |       |       |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 | <p>① 看護・リハビリテーションの充実</p> <p>理学療法士、作業療法士を増員し、安定した訪問リハビリサービスの提供</p> <p>・令和2年度は、10月に常勤作業療法士を採用し、リハ職の常勤2名、非常勤2名体制ができ幅広く利用者様を受け入れることができた。</p> <p>看護師等が外部研修参加でスキルアップし、訪問サービスの充実</p> <p>・新型コロナ感染のため外部研修は軒並み中止、内部研修も対応策に追われて実施には至らなかった。</p> <p>・感染防止策を徹底することで職員が媒介することないように、訪問看護が継続できた。</p> <p>② 新規利用者の確保</p> <p>令和1年度81人(終了者57人)を上回る新規利用者確保に努める。</p> <p>・新規の利用者様も順調に延び、最終的には111人(終了者:76人)を受け入れる事が出来ました。</p> <p>令和1年度利用者総数122人(介護70・医療52)を上回る利用者総数に努める。</p> <p>・3月31日付で、利用者数135人(介護保険87人、医療保険48人)と、前年度より増員。</p> <p>③ 令和2年度訪問回数10,000回を目標</p> <p>上半期:訪問職員12人(看護師9人、リハビリ3人)※カナミックソフト統計から抜粋</p> <p>・総訪問回数:5,595回、介護:3,478回、医療:2,117回</p> <p>上半期:訪問職員13人(看護師9人、リハビリ4人)※カナミックソフト統計から抜粋</p> <p>・総訪問回数:5,613回、介護:3,672回、医療:1,941回</p> <p>・年度総訪問回数:11,208回、介護:7,150回、医療:4,058回</p> <p>以上のように、目標の10,000回訪問を上回ることが出来た。</p> |      |              |       |       |
| ④新型コロナウイルス対策        | <p>①全利用者様へ「コロナウイルス感染症対策」お知らせとお願いを配布し、ケア実施時に利用者様へマスク装着依頼。</p> <p>②出勤職員の検温確認(業務日報に記載)、電車バス通勤手段の変更(徒歩、バイク、自転車等)、時差出退勤<br/>昼食時の分散。</p> <p>③事業所の定期的(3回/日)な換気、消毒(次亜塩素ナトリウム液)、降車時に訪問車両内の消毒<br/>体温計等備品使用後の消毒。</p> <p>④職員のマスク装着、手指消毒。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |              |       |       |

| 令和2年度事業報告書          |  | 事業所名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 睦地域ケアプラザ地域交流・生活体制整備 | 管理者氏名 | 高橋裕子 |
|---------------------|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-------|------|
| ①サービスの種類            |  | 街づくり部門                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                     |       |      |
| ②総括                 |  | <p>コロナウィルス感染拡大防止のため、貸館中止の期間もあり予定していた事業を中止せざるを得ない状況だった。</p> <p>密を避けるため町内会と協力し公園での映画会や子ども食堂をパントリー形式にする等の工夫を行い再開の支援を行った。地域の身近なサロンが継続して運営できるよう、共に考えコロナ禍でもできることを研修を交えて行った。</p> <p>福祉施設が点在していることを生かし、コミュニティハウスや民衆館との連携は年々協力体制が強固なものとなっている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                     |       |      |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 |  | <p>①担い手やボランティアを育成し、事業の際には協力して頂く体制づくりを目指す。地域のサロンの後方支援を行い安定した運営により地域の活性化に取り組む。</p> <p>→ボランティアの育成の機会はなかったが、サロンに関しては話合いの場に参加したり、行政のコーディネーター派遣事業を活用し、後方支援を行い定期的な開催に取り組んだ。</p> <p>達成状況：一部達成</p> <p>②地域の会議や行事に参加し、ネットワークの構築を図る。近隣の施設と連携して協働で異世代交流ができる事業を行う。</p> <p>→開催した会議には、出席し情報収集に努めた。南区青少年地域活動拠点と協働で少人数だったが高齢者と10代の児童・生徒が交流できるプログラムを睦コミハで開催した。コロナウィルス感染拡大防止のため一部を中止した。</p> <p>達成状況：一部達成</p> <p>③5職種会議を行い地域の課題や社会資源情報の共有化を図り、事業に取り組む。</p> <p>→月に1度、5職種会議を行い、地域や事業についての共有を行った。60歳前後の地域住民を対象とした連続講座は、コロナウィルス感染拡大防止の観点から中止とした。状況をみながら検討する必要がある。</p> <p>達成状況：一部達成</p> <p>④各職員が連携し、企画や運営を行う自主事業の増加を図る。</p> <p>→コロナウィルス感染拡大防止から、自主事業は縮小せざるを得ない状況であった。再開した「コーヒーの淹れ方教室」「いきいきシニア塾」は対策をとりながら行った。</p> <p>達成状況：未達成</p> |                     |       |      |
| ④新型コロナウイルス対策        |  | <p>毎朝、出勤時に検温、記録を行う。朝ミーティング後は消毒を行う。常時、換気に努める。</p> <p>来館者にもマスク着用、検温、手指消毒を促し、貸館チェック表に体温を記録していただく。終了後、消毒を行う。</p> <p>貸館利用者にはスリッパの貸し出しは禁止し、自身で持参していただく。密にならないよう人数制限させていただく。</p> <p>事業者よりコロナ感染に関する情報が発信された場合、プラザ内で共有するとともに法人本部にも情報提供を行い職員が関連していた場合、報告しPCR検査を受ける。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                     |       |      |

## VI 障害児・者部門 事業所別報告

| 令和2年度事業報告書          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 事業所名                | 夢心 | 管理者氏名 | 奥山 千鶴 |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----|-------|-------|
| ①サービスの種類            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 障害者総合支援法による就労継続支援B型 |    |       |       |
| ②総括                 | <p>開所日数269日、1日平均15名利用、職業配置(常勤換算)3.3人、指定基準遵守で運営した。常勤職員1名退職、パート職員1名異動、1名入職した。キッチンえくぼの運搬方法、継続して配膳を依頼した同B型えくぼの温度管理、記録の徹底により、食事提供加算が取得できた。利用者の契約状況は、病気による退所1名、その他1名計2名の退所、新規契約者5名で、30名登録となった。コロナ感染を回避するための在宅利用者が5名おり、1日2回の体温を含めた状況確認を電話で行ない記録することにより、給付費算定できた。</p> <p>工賃作業受注状況は、前年同様、横浜市健康安全課からの予防接種予診票送付や、中村小学校からの扇風機、換気扇清掃、南土木事務所からの蒔田公園清掃、マンション清掃が継続受注できた。また、法人内事業所の清掃作業の新規、継続依頼も、安定した作業収入の一つとなった。新規受注は、横浜市教育委員会モデル事業の小学校への軽作業スタッフ派遣事業に声をかけていただき、10月から週1回、日枝小学校で作業を行った。</p> <p>内職作業では、近隣の印刷会社からの依頼が途切れなくあった。納期が短い依頼には苦戦したが、依頼数が多いものや、中には単価が高い物もあり、収入の一つとなった。ボールペン組み立て作業が、依頼側の都合で間隔があくようになったため、採尿カップ折りを新規で受注し、内職が途切れるのを回避した。今年度も、作業収入から必要経費を引いた全額を、年度末ボーナスを含め支払った。</p> |                     |    |       |       |
|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                     |    |       |       |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 | <p>1.利用者サービス向上</p> <p>コロナ感染が拡大する中、内職作業が途切れないようにすることを念頭に受注し、工賃単価を見直しすることなく支払うことができた。安心して通所し、作業ができるよう、3密を避けた座席設定、仕切りの工夫、清掃、消毒を徹底して行なった。コロナ感染防止対策に重点を置き、現状維持を保った。</p> <p>4.地域との関係づくりへの取り組み</p> <p>公園清掃、ポスティングなどの作業を通じて行えた。特に小学校での活動は大きく、地域の子供達と顔見知りになることで学校外での安全を守ることにもつながると感じている。また、生徒や先生方に「ありがとう」と声をかけられ、名前を覚えてもらい、会話することで、自分が頼りにされ、必要とされているとメンバーが感じているのがわかった。</p> <p>3.職員の定着満足度向上</p> <p>職員2名は入職して6年。それぞれが分担を考え、効率よく、丁寧に作業を進行していくことが定着している。作業受注についても相談し決定しているので、責任を持って取り組む姿勢がある。その反面やり方や流れが固まっているため、入職した職員は入りづらいところがあるのではと共通認識があった。分担を考え、凝り固まらず柔軟対応するよう、新人職員教育について話し合った。</p>                                                                                        |                     |    |       |       |
|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                     |    |       |       |
| ④新型コロナウイルス対策        | <p>職員1日2回の検温、記録。利用者の検温、体調の記録。</p> <p>マスク着用、手洗い、手指消毒の徹底。</p> <p>事業所内の清潔、消毒の徹底。</p> <p>空気清浄機能付きエアコン取付、オゾンファイターでの除菌(包括支援事業助成金利用で購入)</p> <p>3.密を避けるため、通所時間の分散の声掛け。</p> <p>感染不安がある利用者の在宅利用可。</p> <p>緊急事態宣言中は、新規利用者の体験利用を中止。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                     |    |       |       |
|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                     |    |       |       |

| 令和2年度事業報告書          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 事業所名     | えくぼ | 管理者氏名 | 望月 文 |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----|-------|------|
| ①サービスの種類            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 就労継続支援B型 |     |       |      |
| ②総括                 | <ul style="list-style-type: none"><li>・今年度は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、なんとか一年間事業を継続することが出来た。フロア内での密を避けるため、利用者には時差通勤や半日利用など利用時間の調整にご協力いただいた。その結果、一日の平均利用者は13.1名と昨年度（13.5名）を下回ってしまったが、大変な状況の中、法人内事業所にご協力をいただき作業が途切れることもなく、サービス提供を継続できた。平均工賃月額も13, 298円と昨年度（11, 968円）を上回ることが出来た。</li><li>・新型コロナウイルスの影響による生活の変化やえくぼの利用などについて利用者一人ひとりにヒアリングを行い、利用者が安心して通所できるよう不安やストレスの軽減に努めた。</li><li>・新たな職員の雇用や異動により有資格者の職員が増え、より良い支援のための意見交換を積極的に行うことが出来た。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |          |     |       |      |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 | <p>①利用者のサービス向上</p> <p>＜工賃作業収入の安定＞ →達成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・以前から受注している内職作業の受注量が増えたことや、法人内事業所から新たな作業を受注いただいたことでコロナ禍であっても工賃作業収入を安定させることができ、利用者にも前年度より高い工賃を支払うことが出来た。</li><li>・利用者の意見を引き出せるよう個々にヒアリングを行い、利用者の不安の軽減、通所意欲の向上に努めた。</li></ul> <p>②管理者としてのマネジメントの課題（収支、雇用）</p> <p>＜給付費及び就労支援事業収支の安定＞→未達成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・利用者の出勤日を調整し、新型コロナウイルスの影響で通所できない利用者に対しても、電話対応による健康管理や相談支援を積極的に行ったが給付費は昨年度を大幅に下回ってしまった。</li><li>・こまめに経理と連絡を取り諸経費について確認した。経費の削減に努めながら、工賃単価の調整を行った。その結果、就労支援事業収支が安定し生産活動に係る事業収支を赤字にすることなく、臨時賞与を支払う事が出来た。</li></ul> <p>③職員チームの満足度向上</p> <p>＜職員の働きやすい環境づくり＞→一部未達成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今年度は新型コロナウイルスの影響により、職員が2名退職してしまったが、時差出勤やその都度シフトを変更しながら工賃作業に支障なく職員体制を組むことが出来た。</li><li>・職員体制が整い、個々の職員の「気づき」や意見に各々が耳を傾ける時間が取れるようになった。</li><li>・職員同士で意見交換できる場が増え、利用者の作業しやすい環境整備がすすみ、事務負担の軽減にも繋がった。</li><li>・今年度は職員を研修に派遣することが出来なかった。来年度は研修への参加の仕方を工夫したい。</li></ul> <p>④地域との関係づくりへの取り組み</p> <p>＜地域で安心して働ける場の提供＞→一部未達成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルスの影響でファイバーリサイクルからの荷物運搬作業は受注できなかったが、今後コロナ禍でもどう関わりを持っていけるか意見交換をすることは出来た。来年度、形にしていきたい。</li><li>・昨年に引き続き法人内事業所の協力を得ながら、スーパーでの買い物など地域で安心して働ける場を提供できた。</li></ul> |          |     |       |      |
| ④新型コロナ対策            | <ul style="list-style-type: none"><li>・事業所内の換気、密状態を作らない環境整備、消毒を徹底した。利用者、職員は出勤前と出勤後の検温、記録を行った。自力で検温が困難な利用者には、検温の仕方を指導、その方の関係機関へも正確な測定ができるよう協力を依頼した。</li><li>・利用者の時差通勤など個々に利用時間を調整し、利用者には自宅でもできる健康チェックリストを配布、電話連絡による健康管理、相談支援を行った。感染への不安から自主的に休んでいる方へも同様の支援を行い、不安の軽減に努めた。</li><li>・職員は感染リスクを考慮し、時短勤務や特別有給を利用するなどシフトを調整した。微熱等不安のある職員にはPCR検査を実施し、陰性結果を確認してから出勤してもらった。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |          |     |       |      |

|                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |        |       |       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|-------|
| 令和2年度事業報告書                                                                                  | 事業所名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ハイムくるみ | 管理者氏名 | 濱田 静江 |
| ①サービスの種類                                                                                    | 共同生活援助(障害者グループホーム)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |        |       |       |
| ②<br>総<br>括                                                                                 | <p>○利用者が地域で、自立して、安全で安心できる生活が送れるよう、利用者一人ひとりの状況に合わせて、個別支援計画書を作成し、支援を行なった。</p> <p>○利用者の意思及び人格を尊重して、利用者の立場にたったサービスの提供に努めた。</p> <p>○地域住民の一員として生活が送れるよう、関係機関と連携を図り、支援した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |        |       |       |
| ③<br>重<br>点<br>目<br>標<br>・<br>事<br>業<br>に<br>対<br>す<br>る<br>達<br>成<br>状<br>況<br>と<br>評<br>価 | <p>①利用者の意思及び人格を尊重して、利用者一人ひとりの合わせた支援を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の「できているところ」に視点をあて、維持向上が図れるように支援をした。</li> <li>・利用者の体調管理について、利用者の変化やいつもと違う様子がある場合は受診同行し、医療機関や関係機関との連携強化に努めた。</li> </ul> <p>②各ホームの地域住民や町内会との連携を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の行事(地域の防災訓練、餅つき会など)へ積極的に参加しようとしたが、新型コロナウイルス感染防止のためすべて中止になりました。町内会の毎月の古紙回収には協力した。</li> </ul> <p>③職員一人ひとりが「気づき」を大切に、また、利用者の情報をしっかり共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人ひとりがそれぞれの視点を持って、気づきの大切さを意識して業務にあたった。特に職員会議に支援員の方々が出席してくれるようになり、細やかな気遣いが支援に生かされた。</li> <li>・サービス管理責任者が中心となり、チーム支援を重視し、職員間で常に情報を共有しながら支援内容の方向を決めていくことができた。計画相談員が2名に増員され、法人内だけでなく、チーム支援がスムーズに行なえた。</li> <li>・知的障害の『ハイムひやくにちそう』では、朝食の提供について、慢性疾患や体重管理が必要な利用者のため、家族とも相談し、職員の提案のもと、安全で安価の朝食提供に努めた。</li> <li>・利用者個人の買い物、定期通院等で感染リスクを極力避け、「3密」にならないように個別に生活リズムの構築をし職員がチームで取り組むことができた。</li> <li>・入居者の安全を図るため、毎日の安否確認を強化した。特に夕支援の世話人と支援員の役割分担を明確にして業務にあたることができた。</li> </ul> |        |       |       |
| ④<br>新<br>型<br>コ<br>ロ<br>ナ<br>対<br>策                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止の研修を行なったり、感染防止のお知らせを職員・利用者に配布し、注意喚起をした。</li> <li>・感染防止のため、体調管理に万全を期すよう、職員は出勤前、利用者は毎朝の検温を徹底した。</li> <li>・施設内の感染防止対策の徹底を図るため、毎日数回次亜塩素酸希釈液やアルコールで消毒をした。</li> <li>・新型コロナウイルス感染防止のため、職員と利用者が一丸となり、新生活様式(うがい・手洗い・消毒をよくする、マスクを着用する、外出はできるだけ控え、人ごみや密を避け、食事の時も会話は控える、外食も控える)での生活の徹底を図る。</li> <li>・PCR検査を実施した。(入居者・職員)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |        |       |       |

| 令和2年度事業報告書          |  | 事業所名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ソーシャルクラブハウスときわ | 管理者氏名 | 濱田 静江 |
|---------------------|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|-------|
| ①サービスの種類            |  | 地域活動支援センター(精神作業所型)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |       |       |
| ②総括                 |  | <p>登録者は前年度から4名減少の25名となった。このうちデイサービスへ通所先を替えた利用者が2名、救護施設と就労移行支援施設へ移った利用者が各1名だった。高齢化などの理由で利用者が減少しているが、今後見学者を積極的に受入れ、利用者の増員につなげていく。</p> <p>日中の居場所としての利用の他、引きこもりの防止、コミュニケーション作り、生活のリズムを整える上での大切な活動の場所となっている。週1回の工賃作業の他、脳トレ教室やストレッチ、料理教室など、毎日様々なプログラムを提供して、通所のきっかけ作りとしている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |       |       |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 |  | <p>1. 利用者の基本的人権を尊重し、気軽に集い、心から憩える場所の提供。</p> <p>→それぞれの利用者の状況を見ながら、安心して過ごせる居場所の提供を行なった。利用者がコミュニケーションを取りやすいよう声かけをして、通いやすい雰囲気作りを心掛けた。</p> <p>2. 生産活動における品質向上と魅力的な製品作り。</p> <p>→利用者の関心のあること、できることを引出し、一人でも多く作業に加われるよう促している。</p> <p>コロナによるマスクの需要が高い中で、様々なデザインの布マスクを作成、販売し、多くのお客様から好評をいただいている。</p> <p>3. 社会参加、交流の機会を作る。</p> <p>→今年度はコロナにより、南まつりなど地域のお祭りが中止になった他、市営地下鉄蒔田駅での販売も、感染リスクを考え、すべて取りやめた。外部での社会参加の機会は減ったが、製品のディスプレイを工夫して店頭販売を積極的行なったことにより、お客様が足を止めて購入してくださり、交流の機会となっている。また、施設への理解にもつながっている。</p> <p>4. 予算の執行状況</p> <p>横浜市より13名分の補助金が支給されたが、平均通所者が1名減の12名となったため、一部返戻を行なう。</p> |                |       |       |
| ④新型コロナウイルス対策        |  | <p>マスクの着用その他、来所時の検温・体調の確認・まめな手洗いと消毒を引き続き徹底した。入口と窓を開けて常に換気を行ない、間隔を空けた着席方法とした。感染リスクを減らすため、利用時間を1時間短縮している。外部での販売、ボランティアの受け入れはすべて中止した。</p> <p>感染の危険性の他、コロナに関する情報を利用者へ向けたミーティングで毎日伝えている。利用者が感染予防への意識を高めることができるよう、わかりやすく説明を続けている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                |       |       |

|                         |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                  |       |       |
|-------------------------|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|-------|
| 令和2年度事業報告書              |  | 事業所名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | たすけあいゆい 相談支援センター | 管理者氏名 | 齋藤 美紀 |
| ①サービスの種類                |  | 指定特定相談支援事業所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                  |       |       |
| ②<br>総括                 |  | <p>法人の理念である『障害者やその家族が地域社会の中で安心して心豊かに暮らしていく』為の相談支援業務に日々心掛け事業運営に取り組んだ。事業開始より5年目を迎え、相談支援専門員2名体制(常勤専任1名+常勤兼務1名)を維持する事で『特定事業所加算Ⅳ』及び『精神障害者支援体制加算』を取得し、事業収益の安定を図ることができた。</p> <p>区高齢・障害支援課及び基幹型相談支援センターより毎月コンスタントに2件～3件の計画相談作成依頼を受け、新規契約数は25名、延べ契約者数は100件を超えている。1年間のサービス計画書及びモニタリング報告書作成数は566件、契約者のほぼ半数以上(53名)は精神障害者(精神保健手帳保持者)及び精神疾患のある利用者であり、精神障害者の支援に特化した相談支援事業を展開している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                  |       |       |
| ③<br>重点目標・事業に対する達成状況と評価 |  | <p>①利用者や家族が地域社会の中で希望する暮らしを目指していけるよう、ニーズに合わせたサービス調整やモニタリングを実施し利用者や家族のQOL向上に努める。/ほぼ達成。</p> <p>②業務の効率化に努め事業収益の安定化を目指し、標準担当件数を遵守して事業運営の健全化を図る。/ほぼ達成。</p> <p>令和2年度契約者総数112名(前年度比+31名)、計画案作成数87件(前年度比+2件)、モニタリング報告書作成数479件(前年度比+67件)、総数566件(前年度比+68件)、月平均47.2件、新規契約者25名、契約終了者14名(内訳:入院・入所2名/介護保険移行4名/サービス終了5名/本人希望2名)。昨年度は1名だった介護保険への移行者が今年度は4名に増加、担当区も市内8区に増加した。(南83名/磯子8名/港南4名/金沢7名/泉3名/旭1名/戸塚4名/鶴見2名)</p> <p>③特定事業所加算等の算定を継続し質の高いケアマネジメントを提供するため、研修等に参加し自己研鑽に努める。</p> <p>/コロナの影響にて研修や自主勉強会が中止となり未達成のため来年度に持ち越し。</p> <p>④自立支援協議会相談部会に積極的に参加し行政や事業所、医療機関等との情報共有に努め地域のネットワーク作りに努める。/ほぼ達成。隔月開催している南区自立支援協議会に全回参加し、常日頃より南区基幹相談支援センター(どんとこい・みなみ)や南区障がい者後見の支援(さぽーと・なみ)とは支援困難ケースの相談を行っている。また市内10ヶ所の訪問看護事業所からは毎月報告を受け看護リハ計画に添った支援方針に基づき情報共有を図りながら連携支援を行った。</p> |                  |       |       |
| ④<br>新型コロナ対策            |  | <p>厚生労働省からの通知による「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る相談支援の実施に関する横浜市の取り扱い(事務連絡)」に添った方針に従い感染予防対策を実施した。自宅や施設・事業所等への訪問には事前に利用者、家族、職員の体調(検温、風邪症状等確認)及びコロナ感染者・濃厚接触者の発生状況及び対策等について事前確認を行った。</p> <p>また、本人・家族が基礎疾患やコロナ感染リスクや重篤になる可能性の高い呼吸器系疾患・免疫抑制剤・抗がん剤服用等の疾患がある場合は対面しない方法(電話・FAX・郵便・メール等)にて対応。やむ負えず訪問や会議の開催が必要な場合は対面する場所の環境設定(3密回避、人と人との距離の確保、アクリル板の設置、室内換気等)及びマスク着用、検温、手指消毒を実施。職員は出勤時に検温(その結果を日報に記録)等の体調管理をし、事務所と相談室には各々飛沫防止アクリル板や加湿器を設置すると共に、毎朝と相談者の出入り毎に、手すり、ドアノブ、椅子、テーブル等をアルコール消毒を実施。訪問時には非接触式体温計と消毒薬を携帯し適宜使用した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                  |                  |       |       |

| 令和2年度事業報告書          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 事業所名      | さくらんぼ | 管理者氏名 | 吉田 優美 |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|-------|-------|
| ①サービスの種類            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 障害児通所支援事業 |       |       |       |
| ②総括                 | <p>3月時点契約数 児童発達支援 22名、放課後等デイサービス 22名 合計 44名 / 1週間の登録人数 64名</p> <p>延べ利用人数 2,600名(児童発達支援 910名、放課後等デイサービス 1,690名)、1日平均 8.4人</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、例年行事、イベントは全て中止とした。感染予防の徹底に最優先で努めた。</p> <p>令和3年度より放課後等デイサービス事業休止により、混乱を最小限にする為、年末に保護者への説明、児童の移行調整を行い、苦情はなく、全児童の移行調整も完了した。休止に伴い、放課後等デイサービスの早期利用終了も想定し、児童発達支援の未就学児受け入れを増員した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |           |       |       |       |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 | <p>1 事業所内研修として、『意思決定ガイドライン研修』を新たに行う。→達成。神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部障害福祉課・共生社会推進課 「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援研修」の動画を使用し、令和2年10月20日実施。</p> <p>2 父母会とは別に、座談会を開催し、保護者同士の横の繋がりがもてるようサポートする。</p> <p>→未達成。 新型コロナウイルスの影響により中止(自粛)した。保護者アンケートより、必要としていない声も多かった為、次年度の事業計画への見直しを行った。</p> <p>3 児童発達支援の児童の受け入れを増やせるよう、環境設定の変更を行う。これにより児童の成長に伴った柔軟な体制が取れることを見込んでいる。 → 一部達成。 マンツーマンではない、複数児支援の意識づけは行えた。</p> <p>常勤のバックアップがある中、非常勤職員だけに支援業務を任せる日も設定し、常勤、非常勤と支援に対して同等の責任感をもって業務遂行が行えるようになった。支援の視点、視野も広がった。重度の児童への支援を担える職員も育てている。</p> <p>4 考課表を元に適切な評価を行い、職員のスキルアップ、向上心へと繋がるよう説明、面談を行う。得意を活かした業務への反映。</p> <p>→未達成。 考課表を元に全職員へ賃金評価、処遇改善加算評価を行っている。しかし、短時間面談になってしまい、職員のスキルアップ、向上心へと繋がるような面談時間はもてなかった。</p> <p>5 地域の方、利用を検討している方、就労を検討している方など幅広く知って頂けるよう、ホームページに事業が見える広報誌を作成し、掲載、掲示する。→未達成。 新型コロナウイルスの影響、人材の増員が出来なかった事もあり、人材確保の為にも、広報誌作成は来年度も重点目標としたい。</p> <p>6 地域の公園を利用し、地域の一員として見守ってもらえるように障害児理解へと繋げる。</p> <p>→達成。 公園へ出向き、地域の保育園等と顔なじみとはなっているが、障害児理解へと繋がっているかはわからない為、継続する。</p> |           |       |       |       |
| ④新型コロナ対策            | <p>サービス提供状況：1回目の緊急事態宣言が解除されて以降は、利用制限を継続した児童は未就学で1名、就学児で1名。</p> <p>学校が再開された事もあり、通常に戻った。業務内容も通常通り行った。新型コロナの影響で非常勤職員1名退職があったが、非常勤職員の3名の入職もあった。</p> <p>対策：次亜塩素酸ナトリウムを使っての室内・車内・玩具清掃の徹底。乗車、入室前の検温。非接触体温計の導入。</p> <p>児童へはマスク着用の練習を兼ねて促し、着用できる児童が増えた。また、コロナ濃厚接触者ではない状況であっても疑わしい場合には、保護者へ伝え、減収にはなってしまうが、安心して通ってもらえる事を優先し、リスク管理を強化した。</p> <p>11/24『施設内における新型コロナウイルス対策研修』実施。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |           |       |       |       |

## VII 子ども家庭・まちづくり部門 事業所別報告

| 令和2年度事業報告書          |  | 事業所名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 児童家庭支援センター むつみの木 | 管理者氏名 | 濱田 静江 |
|---------------------|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|-------|
| ①サービスの種類            |  | 児童家庭支援センター                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                  |       |       |
| ②総括                 |  | <p>・子育て短期支援事業については、新型コロナウイルス感染症対策により、横浜市こども青少年局より利用世帯数を制限するよう通達があり、例年と比較して利用数が減少している。利用時においては、地域の子ども食堂やイベントの中止があったが、事業所内の過ごし方として児童と個別でかかわる時間を増やし支援の充実に努めた。</p> <p>・南区子ども家庭課との連絡会を3回実施。うち1回は中央児童相談所も交えた連絡会を行い、支援方針の確認や情報共有を行うことができた。</p> <p>・地域交流事業…2回実施12月…体操 3月…English Lesson<br/>コロナ禍の開催の為、人数を少なく午前の部・午後の部と分けて感染症対策を行いながら実施した。</p> <p>・コロナにより、色々な制限がある中での運営となったが、感染対策を行いながらできる範囲での支援を継続した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                  |       |       |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 |  | <p>・総相談件数4851件 月平均404件（目標値370件）<br/> ・養育家庭支援事業登録 20世帯30名（内訳 区…8世帯 児相…12世帯）<br/> ・一般相談…15世帯 うちカウンセリング、相談継続中4世帯（他世帯は、他機関につなぐ当して終結）</p> <p>【子育て短期支援事業】</p> <p>・子育て短期事業利用登録 20世帯30名（内訳 区…8世帯 児相…12世帯）<br/> 月平均件数 ショートステイ…25件 休日預かり…54件 トワイライト…25件</p> <p>○職員の専門性向上のため、研修や講演会などに合計6講座 計8回参加した。コロナ禍により、研修自体が行われない事もあったがオンライン研修にも参加した。</p> <p>○実習生の受け入れ 6名の受け入れを実施。冬期の受け入れについては、コロナウィルスの感染拡大により中止となり当初の予定より少ない受け入れとなった。</p> <p>○フードバンクから寄付を頂き、おやつや朝食に活用し、食費の削減につながった。<br/> 子ども達と地域のお店に個別で買い物に行ったり、少人数での調理体験を行った。十分とは言えないが、地域との繋がりをもちながら、子ども達の社会経験の機会を持った。</p> <p>○フードバンクを含め、様々なところから支援を頂いたら、お礼状を作成し「ありがとう」の気持ちを伝え、子ども達と支援先との繋がりを持った。</p> <p>○町内会のイベントは中止となり参加できなかったが、町内会の子供会が実施している廃品回収には継続的に参加することが出来た。</p> |                  |       |       |
| ④新型コロナ対策            |  | <p>○横浜市からコロナウィルス感染拡大対策費があった。利用児の密を避け、ソーシャルディスタンスを保てるように机や棚、アクリル板・玩具などを購入した。また、マスクやペーパータオル・雑巾などの衛生品も購入。</p> <p>○職員は出勤時の検温・消毒・マスクの着用を徹底し、自分だけでなく家族の体調不良時にも有給休暇を使用する等、感染予防に努めた。</p> <p>○利用児は検温、体調確認を行い、少人数で過ごせるように部屋を分けたり、利用時間をずらして調整を行った。</p> <p>○室内は常時換気を実施、空気清浄機の設置、扉や棚、玩具の消毒の徹底。オゾン脱臭器による室内の殺菌の実施。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                  |       |       |

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |       |      |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|------|
| 令和2年度事業報告書          | 事業所名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ゆいの木 | 管理者氏名 | 濱田静江 |
| ①サービスの種類            | 児童家庭支援センター                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |       |      |
| ②総括                 | <p>・後期より、磯子区こども家庭課・児童相談所との連絡会を実施し、子育て短期支援事業利用世帯だけでなく養育家庭等支援事業登録世帯も支援方針の確認や情報共有ができた。</p> <p>・子育て短期支援事業では、保護者のニーズも確認しつつ子どもの意見も尊重して利用受入れを行った。関係機関と連携を図り地域住民が帰宅を見守る新たな送迎を開始、地域ぐるみで支援し地域社会での生活が継続できるよう努めた。</p> <p>・コロナ禍でも開所を継続し、支援が滞ることがないよう、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い、対面での相談も必要に応じて行った。職員会議はオンラインでの開催が可能となった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |       |      |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 | <p>【相談事業】</p> <p>・総相談件数3050件 月平均254件(目標値200件)</p> <p>・子育て短期支援事業を利用している世帯の保護者と定期的に面談を実施し随時相談を受けることで、障害者地域活動ホームや生活支援センター・療育センターなど幅広い関係機関と連携し支援を進めることができた。</p> <p>【子育て短期支援事業】</p> <p>・月平均件数(目標値):トワイライト30件(16)、休日預かり21件(20)、ショートステイ3件(4)</p> <p>トワイライトの数値が大幅に目標値を超えた。</p> <p>・地域の商店街や地区センター等での行事に積極的に参加しようとしたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。</p> <p>・フードバンクかながわの寄付食材を活用し、週末や行事にて食事作りを開始。食育だけでなく利用児童の生活体験に繋がっている。</p> <p>【地域交流事業】</p> <p>・地区センターと共催は新型コロナウイルス感染拡大のため中止し、10月より単独事業として乳幼児の子育てサロンのみ毎月開催。オンラインで開催するなど感染流行の中でも安心して参加できるよう工夫した。来年度は、感染防止対策の徹底を図りながら、地区センターとの共催を企画。</p> <p>【職員研修及び関係機関への訪問】</p> <p>・いずれもコロナ禍において、計画通りには実施できず計6回に留まった。来年度はオンライン研修にも参加できるよう計画する。</p> <p>【子どもの食緊急支援プロジェクト】</p> <p>・全国児家センへの協力依頼に応じ、磯子区内での支援先を模索した。区社協と共催で食支援を実施しているNPO法人へ食品提供をすることと、配布日前日と当日の手伝いに参加をすることで、他機関及び地域の子育て世帯へ、当所の周知を行うことができた。</p> |      |       |      |
| ④新型コロナウイルス対策        | <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策補助金により、空気清浄機付きのエアコンに取替え、ソーシャルディスタンスを保てるようテーブル・アクリル板・玩具などを購入し、感染防止の徹底を図った。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症による利用対応のお知らせを利用保護者に配布し、注意喚起をした。</p> <p>・感染防止対策の徹底を図るため、プレイルームと事務室に空気清浄機を設置のほかに、毎日オゾン脱臭装置にて除菌、扉や手すり等のアルコール消毒を実施した。</p> <p>・感染防止のため、職員のマスク着用、職員・利用児の検温、手洗い、消毒の徹底。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |       |      |

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |       |       |      |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|-------|------|
| 令和2年度事業報告書          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 事業所名       | さくらの木 | 管理者氏名 | 濱田静江 |
| ①サービスの種類            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 児童家庭支援センター |       |       |      |
| ②総括                 | <ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍により休校期間があった事で児童虐待の回避軽減を目的に子育て短期支援事業は昨年度と比較しやや増加。また、夏以降には未就学児の一般相談が大幅に増えた。新型コロナウイルス感染症対策を万全におこない、対面での相談を中心におこなった。相談増加の要因としては在宅ワークが増えた事で夫婦関係の不調、一般相談機関の閉鎖や区役所の定期相談や健診が中止となった事による事が考えられる。</li><li>・金沢区こども家庭支援課との連絡会はコロナ禍の為、規模を縮小し年2回実施。情報共有と方針確認のみおこなった。今年度からは南部児童相談所の参加もおこなわれ、3者での協議がおこなえた。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |            |       |       |      |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 | <p>【相談事業】、571件 月平均380件(目標値250件)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・心理士を増員し養育支援家庭への定期的なカウンセリングを複数開始。また、養育支援家庭のみならず一般相談も増加した。</li></ul> <p>【子育て短期支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・利用登録世帯 26名16世帯 (内訳 区13+児相3)</li><li>月平均件数(目標値) トワイライト16.5件(6) 休日17.75件(14) ショートステイ9件(6)</li><li>・コロナ感染予防をしながらの外遊び、室内遊びなどを児童にあった過ごし方を検討しながら過ごした。</li><li>・近隣農家やフードバンクの協力により、食事作りおよび提供をおこない食育だけでなく生活体験や地域の方との触れ合う時間になっている。</li></ul> <p>【地域との連携】</p> <p>各関係支援機関、フードバンクの活用、区内子ども食堂連絡会、近隣公園の愛護会活動への参加をおこなった。特に、公園愛護会とは利用児童の公園利用時に野草遊びなどを提供して頂いたり公園の手入れを体験出来る機会になっている。また、地域交流事業を共催できた事で地域への周知活動および利用児童が公園愛護会の方と触れ合う機会となった。</p> <p>【職員の専門性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍により研修開催および関係機関訪問の中止が相次いだ為参加には至らなかった。来年度はオンライン研修にも参加できるよう計画する。</li></ul> |            |       |       |      |
| ④新型コロナ対策            | <ul style="list-style-type: none"><li>・子育て短期支援事業の受け入れについては区こども家庭支援課と南部児童相談所と検討の上判断し実施。利用時の手洗いの徹底と検温の実施、行動範囲の制限、可能な範囲でのマスクの着用などをおこなった。また、保護者宛に利用についてのお願いを法人内児童家庭支援センターで統一し配布した。</li><li>・職員の検温、マスクの着用、手洗い消毒、換気など感染予防対策の実施。</li><li>・新型コロナウイルス感染症拡大対策補助金により、空気清浄機や消毒液類、玩具などの必要物品の購入をおこなった。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |            |       |       |      |

| 令和2年度事業報告書      |  | 事業所名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 睦母子生活支援施設 | 管理者氏名 | 大河内 文代 |
|-----------------|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|--------|
| ①サービスの種類        |  | 第1種 社会福祉事業 母子生活支援施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |           |       |        |
| ②総括             |  | <p>【入所世帯数】・本入所 16世帯(R3 3/1現在)(入所8世帯)(退所10世帯)<br/>・緊急一時世帯2世帯(R3 3/1現在) 令和2年度総利用数 14世帯</p> <p>【妊娠期支援事業】・受け入れ実績 1世帯</p> <p>【地域貢献事業】・未就学児対象「ふるふる」学童児対象「きのこ」はコロナウイルス感染症予防のため中止<br/>・「てのひら食堂」(毎月第1土曜日) 民衆館 睦ハイム共催<br/>「こども市場」(毎月第2土曜日)(特非)みんなの海山交流学校 睦ハイム共催<br/>いずれもお弁当や寄付品の配布に切り替え対応した</p> <p>【自立支援コーディネーター事業】・実施内容 (訪問・電話相談・学童利用・DELI利用・カウンセリング)<br/>・切れ目ない支援を目指し、退所児の中高校生への学習・進学フォローや<br/>・不登校児への支援に力を注いだ。『令和2年度 事業報告書参照』</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |           |       |        |
| ③重点目標・事業達成状況と評価 |  | <p>①利用者サービスの向上<br/>○妊娠期支援事業 緊急一時保護対象者で、横浜市内に住む特定妊婦に対し、居場所の提供と出産育児を行う支援をおこなった。児童相談所・病院・助産院・区子ども家庭支援課等の関係機関と連携し、安心して出産を迎えられるよう一人一人に合った支援を目指した。<br/>○外国人・広域の受け入れを積極的に行い必要な人に必要な支援が入るよう務めた。<br/>○コロナ禍のため行事を中止せざるを得ない状況におかれたが、感染リスクを少しでも減らす努力をし、できる範囲内で入居者の気分転換と様々な経験が得られるようプログラムを開催した。<br/>○利用者の満足度ははかるアンケートを実施し、職員間で共有し支援の質の向上につなげた</p> <p>②管理者としてのマネジメント<br/>○職員の福利厚生を図るため、就業規則にのっとり確実に有給休暇が取れるように努め処遇改善の計画を実施した。</p> <p>③職員のスキルアップ<br/>○内部人材育成研修 11月「発達障害の理解と支援」講師 白木先生<br/>12月「オープンダイアログ 対話について」講師 東京大学 石原先生<br/>1月「オープンダイアログの手法に基づいて 事例検討」講師 東京大学 石原先生</p> <p>④地域への関係づくりの取り組み<br/>○『こどもの貧困』への取り組みとして、こどもとみんなの居場所「てのひら食堂」「こども市場」に参加した。</p> <p>⑤その他の取り組み<br/>○エアコンの性能が落ちたため交換(居室 施設内)した。<br/>○施設内を業者による害虫駆除を行い館内消毒に務めた。</p> |           |       |        |
| ④新型コロナウイルス対策    |  | <p><b>利用者に対して</b><br/>・毎朝の検温を実施し体調管理を促した。22時の門限を20時にし夜間の外出を避け、外泊を禁止とした。<br/>・緊急事態中の休校、休園を受け、学童(中高生を含む)は13時から16時まで学習支援と余暇支援、保育は母の負担軽減のために10時から12時までの預かり保育を行った。<br/>・朝8時に不要不急の外出を控えていただくための放送を入れている</p> <p><b>施設の取り組み</b><br/>・施設内の消毒を朝、昼、夜と3回実施。オゾンによる室内(共有スペース)消毒や空気清浄機を導入し衛生管理に務めた。<br/>・感染予防のために在宅勤務・オフピーク通勤・バイク通勤を奨励した。<br/>・職員のマスク使用を義務付け日々の生活様式を見直し管理を徹底させた。<br/>・地域交流スペース・心理室・事務所内を改装し、密を避けれる空間設定を行った。内容によって仕事を分散したり工夫を重ね業務を行っている。<br/>・地域交流スペースの利用をコロナ感染状況に合わせ中止 または条件付きでの利用とした。<br/>・社会福祉士 保育士の実習生受け入れについては各学校と連携をとりながら実施時を確認し、学生には通常の健康診断に加えPCR検査と2週間の体調観察をお願いしている。</p>                                                                                                                                           |           |       |        |
| ⑤特記事項           |  | <p>・ご支援くださる方々(セカンドハーベスト・ペニンシュラ・アディエント・神奈川共同募金会)からの寄付により利用者の生活がうるおうことに感謝をしている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |           |       |        |

|                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |           |        |       |       |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------|-------|-------|
| 令和2年度事業報告書          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 事業所名      | つくしんぼ園 | 管理者氏名 | 濱田 静江 |
| ①サービスの種類            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 企業主導型保育事業 |        |       |       |
| ②総括                 | <p>○登録者数は企業枠3名・地域枠6名・余裕活用型一時預かり13名の合計22名。3名途中退園。</p> <p>○年間総利用件数は企業枠402件・地域枠663件・余裕活用型一時預かり293件の合計1358件。</p> <p>○利用人数に空きがある場合、余裕活用型一時預かりを実施することで、地域に貢献することができた。</p> <p>○0歳児の保育利用が多く、0歳児クラスは定員数を上回った。</p> <p>○企業内の利用人数が年々減っており、地域の方の利用が多くなっている。</p> <p>○地域の方の利用枠を増やすため、横浜市乳幼児一時預かり保育事業にに応募し、選定された。</p>                                                                                              |           |        |       |       |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 | <p>○一人ひとりの成長に合わせた指導案を作成して保育を行い、基本的な生活習慣を身につけることができた。</p> <p>○季節の行事では、法人内事業所の方と触れ合うことができた。</p> <p>○保育が必要な子供に対して、保護者の就労時間や希望に合わせて保育を実施した。</p> <p>○利用児童数に合わせて、職員の人数を調整した。</p> <p>○職員会議での施設内研修や外部研修に参加し、職員全員で保育内容の理解を深めた。</p> <p>○施設の修繕、清掃、消毒等はできる限り職員が行い、経費削減に努めた。</p> <p>○消耗品や事務用品は、寄付なども活用しながら無駄なく発注し、最小限に抑えた。</p> <p>○保育料の見直しを行ったが、保育料、補助金収入とも予算を下回った。横浜市一時預かり保育事業の運営を軌道に乗せ、安定した収入を維持できるようにする。</p> |           |        |       |       |
| ④新型コロナ対策            | <p>○次亜塩素酸ナトリウムを使用し、玩具や保育用品の消毒を1日3回行った。</p> <p>○オゾン発生装置を使用し、園児の降園後、毎日室内消毒を行った。</p> <p>○行政指導に従い、園児の受け入れを拒否することなく行った。</p> <p>○受け入れ時の検温を徹底。1日3回検温を必ず行い、健康チェック表に記録した。</p> <p>○職員も健康チェック表を使用し、各自体調管理に努めた。</p> <p>○子どもたちに手洗い指導を行い、手洗いの大切さを伝えた。</p>                                                                                                                                                        |           |        |       |       |

| 令和2年度事業報告書          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 事業所名          | ゆいひなた塾 | 管理者氏名 | 濱田 静江 |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------|-------|-------|
| ①サービスの種類            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 南区寄り添い型生活支援事業 |        |       |       |
| ②総括                 | <p>○開設について南区子ども家庭支援課との打ち合わせ 5回 他区寄り添い型生活支援事業見学2回</p> <p>○開設について地域への説明 6回</p> <p>○実施場所の選定、設備や備品の準備を行った。</p> <p>○関係機関への周知を行い、2月19日・24日・25日 関係者へ向けて内覧会を実施。<br/>(コロナ感染予防のため人数を制限し時間を区切って実施。)参加人数22名</p> <p>○2月26日(金)南区長、堀ノ内睦町連合町内会会長に来所して頂き内覧説明を行った。</p> <p>○2月26日(木)開所。稼働日数24日 利用登録6名(小学2年生～中学1年の男子1人週2回利用) 延べ利用人数12名</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |               |        |       |       |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 | <p>○連携ネットワーク</p> <p>・法人内他事業所、区役所子ども家庭支援課と連携し、ゆいひなた塾の開設を行った。</p> <p>・区役所こども家庭支援課と連携し、地域へ説明を行い、地域の理解を得て開設することができた。</p> <p>・区役所子ども家庭支援課と連携し、中央児童相談所、南区生活支援課等関係機関、学校への周知を行ないネットワークの構築に努めた。関係機関への内覧会を行い、内覧、支援内容の説明を行った。</p> <p>・登録の子どもについて、区役所こども家庭課を主として見守りの対象として支援する体制としていくこととなった。</p> <p>・利用の子どもを取り巻く環境を把握し、子どもに合った支援を行うため、学校や支援機関との連絡調整を行った。</p> <p>○開設準備</p> <p>・安心安全な子ども達の居場所になるよう、場所の選定、物品の準備を行った。閑静な住宅地の中で近隣住民の理解を得ることができ、古き良きおばあちゃんの家に来たような雰囲気のある住宅にて開設することができた。また、物件の大屋さんに事業の理解を頂き、近隣に住む親せき一同で子ども達の緩やかな見守りをしていただいている。</p> <p>・コロナ禍において3密を避けるような間取りの利用を考え、物品の準備を行った。</p> <p>○支援内容</p> <p>・利用の子供に合わせた支援が実施できるよう、利用登録、利用までの流れや書類等の作成の管理について南区子ども家庭支援課と話し合いを行い準備を行った。</p> <p>・支援の内容について、他事業で培ったノウハウをもとに、子どもに合わせた支援内容となるようプログラムを作成した。</p> <p>・支援プログラムとして、教員免許を持つ職員による学習支援や、簡単な調理体験を行い軽食を提供、職員と将棋の勝負を通して関係性を構築するなど、様々な体験から少しずつ自分に自信を付けていけるよう支援を行っている。</p> <p>・ルールを守ることにより、子どもたちが安心して過ごすことができるよう、利用者用の手引きを作成し、登録時に子ども、保護者と面談を行い説明を行った。</p> <p>・登録面談時に子どもと保護者の話を聞き、普段の生活状況の把握を行い、まずは定期的に利用できるよう、初回は家まで迎えに行く等の支援を行った。</p> <p>・学校に登校できていない子に対し、社会とのつながりを作り、学習の学び直しにより自信をつけ、登校に結びつくよう支援している。</p> |               |        |       |       |
| ④新型コロナ対策            | <p>・開設にあたり、オゾン脱臭機を設置し職員が帰る際には必ずオゾン脱臭機で除菌を行った。</p> <p>・開設にあたり光触媒空気清浄機の設置を行い、人がいるときには常に空気清浄機を稼働させて除菌を行った。</p> <p>・職員、利用者ともに来所時には手洗いうがい、検温、マスクの着用を行った。</p> <p>・利用時に使ったものや、食器、テーブル、椅子などは使用後は次亜塩素酸水で除菌を行った。</p> <p>・調理、食事の時には、手指消毒、エプロン、帽子の着用を徹底して行った。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |               |        |       |       |

| 令和2年度事業報告書          |  | 事業所名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | コミュニティサロンおさん | 管理者氏名 | 濱田 静江 |
|---------------------|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|-------|
| ①サービスの種類            |  | コミュニティサロンの運営 「おさん・ひなた塾」(ソーシャルインパクト評価)運営                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |              |       |       |
| ②総括                 |  | <p>○月別延べ利用人数 4月2名 6月9名 7月40名 8月43名 9月32名 10月31名 11月29名 12月30名 1月31名 延べ247名</p> <p>○食事提供数 33食</p> <p>○横浜市協創推進課、公社研との実務者会議 6回</p> <p>○ゴールドマンサックス、横浜市協創推進課、公社研との運営会議 2回</p> <p>○「おさんひなた塾」閉塾にあたり地域への説明 6回(主に磯子区)</p> <p>○「コミュニティサロンおさん」については来館者、職員への新型コロナウィルス感染予防のため休止。再開については動向をみて検討。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |       |       |
| ③重点目標・事業に対する達成状況と評価 |  | <p>①新型コロナウィルスの蔓延により、全国に緊急事態宣言が出され、多くの地域の方が出入りがあり、感染拡大の恐れがある「おさんコミュニティサロン」を4月2日より休止した。また、子ども達の3密を避けることが難しいため、子どもの安全を守ることを最優先とし、4月2日より「おさんひなた塾」を休止した。</p> <p>・6月24日より、おさんひなた塾の場所を「ゆいこども園」地下1階に移し再開。2～3名ずつ1～2時間に時間を区切って学習支援のみ行った。コロナ禍において、友達や家族以外の大人と話す機会を失った子ども達にとって短い時間だが、自分の気持ちを話すことのできる居場所となった。また、相談場所がなく子どものことについて話をしたい保護者にとっても相談できる場所となった。</p> <p>②・おさんひなた塾令和元年度の社会的インパクト評価報告書を公社研が作成。(添付資料)</p> <p>・今後の運営にあたって、運営会議にて検討を行ったが、コロナの影響により再開は難しいと判断し、1月末を持って閉塾する事となった。また、磯子ひなた塾の開設についても中止することとなった。</p> <p>・閉塾にあたり、協力いただいた地域の方々や学校等関係機関に対し、説明を行った。</p> <p>・閉塾にあたり、利用している子どもの保護者と面談を行い説明するとともに、希望がある子どもを近隣の居場所支援を行う団体へつなげ、地域のNPO法人との連携支援を行った。地域の支援団体とのネットワークを構築し支援の輪を広げていくためのきっかけとなった。</p> <p>・4年間のおさんひなた塾の支援の経験やノウハウを活かし、南区生活支援事業の開設を行い、おさんひなた塾の利用登録の子どもの中で支援の対象になる子どもについて新事業への利用に繋がるよう他機関と連携し声かけを行っている。</p> <p>・4年間の成果として社会的インパクト評価報告書を公社研が作成中。</p> |              |       |       |
| ④新型コロナ対策            |  | <p>○4月2日より感染拡大防止のため休止。</p> <p>○おさんひなた塾のみ場所を移し、6月24日より2～3人ずつ、1～2時間程度に時間を区切り少人数で支援を行うことにより、密を避けるよう努めた。</p> <p>○食事の提供はお昼のみとし、2～3名での食事となるよう時間を設定した。</p> <p>○利用時の手洗いうがい、検温、マスク着用を徹底した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |       |       |